

## 向原八雲神社信仰資料(むかいはらやくもじんじゃ しんこうしりょう)

板橋区登録有形民俗文化財 平成21年3月26日登録

所在地：板橋区向原2-4-7(向原八雲神社)

交通：東京メトロ有楽町・副都心線「千川」駅徒歩6分

国際興業バス「千川駅」徒歩6分

[日大病院⇄池袋駅西口(池05)]

当社は、向原地域の信仰を集め、富士山や相模国大山へ登拝するために組織された「講」に関連する貴重な資料が残されています。

大山講に関わる木太刀は、講員が大山へと担いで行き、大山にある良弁滝ろうべんのたきで水垢離みずごをしたあとに持ち帰り御守りとしたものです。

御神酒おみきわく枠は一对となっており、担ぎ棒を通して、大山に奉納する御神酒を運び、大山の御神水を入れて持ち帰ります。これらの資料は、今のところ、区内では当社だけでしか確認されていません。なお境内には文政2年(1819)造立の大山不動明王石像が祀られています。

次に、富士講に関する資料としては、上板橋村に展開した「山方講」やままんこうの枝講えだしょう「丸證講」まるしょうこうの世話人によって江戸末期に寄進された手水鉢があります。また、富士講の講員が祈祷の時に使用する祝詞や御三幅と呼ばれる御神体なども残されています。

その他の資料として、神社の祭礼や榛名山などへの登拝講にかかわる古文書などがあります。



「写真は御神酒枠」